

小幡圭祐氏「旧東田川郡役所の歴史的価値」 西洋化と純和風建築との対比

第2回ふじしま歴史文化講座

『ふじしま歴史文化講座』国史跡旧東田川郡役所及び郡会議事堂と藤島地域の文化財』の第2回講座が22日、東田川文化記念館明治ホールで開かれました。テーマは「三島通庸と高橋兼吉からみた旧東田川郡役所の歴史的価値」で、講師は小幡圭祐氏（山形大学人文社会科学部准教授）です。

棟梁・高橋兼吉の両者の思惑を、目に見える形で示した唯一無二の郡役所建物。それを生み出したのは、1886年の郡役所火災という偶発的な事件。

火災がなければその価値は生まれなかった。」と述べました。

三島と兼吉

明治期は、県令・三島通庸が、アメリカから輸入した鋸石機と、西洋建築を模した擬洋風建築を採用して公的建築を進めた。

初代東田川郡役所は明治12（1879）年から明治14（1881）年の間に、鶴岡市にある旧西田川郡役所などと同じ時期に建てられた。



郡役所火災が

小幡氏は、「山形県から儒教国家建設を目指した県令・三島通庸と、西洋建築の技術を独自に身体化し新たな建築様式の創出に挑戦した



初代東田川郡役所庁舎（山形県立図書館デジタルライブラリー）

三島は、自分の儒教的価値観を維持するために、西洋の技術を取り入れた。

鶴岡県令時代に三島は、明治8（1875）年、酒田から鶴岡に県庁を移す際、鶴ヶ岡城の石垣と濠を埋めて、公園として酒井家始祖3代を祀る荘内神社を建立し、町人地である馬場町に洋風瓦葺き3階建ての朝暘学校を建設した。

高橋兼吉は、旧西田川郡役所と旧鶴岡警察庁舎等の洋風近代建築の施工を担当し、庄内を代表する建築家として知られ、初代東田川郡役所の建築も兼吉の可能性が高い。

2代目郡役所

明治19（1886）年4月18日に近辺の大火に巻き込まれ消失したが、翌年の明治20（1887）年、2代目東田川郡役所が建設された。

2代目郡役所は、旧狩川村役場庁舎と和風基調で全体に雰囲気良く似る点と、大部屋にトラスを採用する点で一致し、当時著名な

ふるさと賛歌

鈴木重雄（八色木）

日向富編・歌集「のうぜんかずら」⑩

第16回例会詠草 昭和46年6月13日

特急北海発つ時に思ひだせり噴煙たなびく雌阿寒のさま 石川兵一郎

冴えざえと星輝く夜亡き息子を戸口の陰に思ひ出しをり 同人

在りし日に父と築きし庭石に添えたるつつじ今年咲き初む 太田辰吉

書くことを厭へる妻は此の春に就職せし子にペンを走らす 同人

無条件に植うる機械の後になり老いし鋤頭穴植ゑ始む 小鷹和子

忘れ物を取りに来し子はべそをかきズツクのままに畳を這ひをり 同人

祖先よりの苗代埋めし土を手に減反に抗せず亡き父母に詫ぶ 小鷹竹尾

ゆるやかな流れにまかす舟下り岸のよし葦水面に揺るる 土田昭太郎

出稼ぎより帰りたる我に古い母と妻がすすむる草餅うまし 同人

朝茜は雨後の若葉に煌めきて雫は緑となりてしたたる 同人

兼吉が手がけた初代東田川郡役所が焼失したことにより、再建も兼吉に任せようというのは自然の流れといえ、2代目郡役所も兼吉が関わった可能性はある。

新たな和風建築

幕末から明治初期にかけて、西洋建築が取り入れられ、本格的な西洋建築が続々と建てられた。しかし、組積造（そせきぞう・レンガ、石）

西洋化を強力に推し進めた三島通庸が去ったことで、新たな和風建築を目指す高橋兼吉が2代目郡役所をつくり、その対比が、唯一無二の純和風の郡役所として歴史的価値を残した。

遊水族館

水族館に遊ぶ(すいぞくかんにあそぶ)

城貞(藤の花)

白聖殿堂魚戯潺
砂礁林立渺茫間
海月浮游方数万
館中水母腦無閑

白聖の殿堂 魚 戯れて潺なり
砂礁 林立して渺茫の間
海月 浮游 方に数万
館中の水母 腦に閑 無し

水族館の中の魚が浮いたり沈んだりして流れる水音がある。

水族館の脇の海面の下には、海上から見えない岩が限りなく群がっている。

クラゲがふわりふわりと浮かんでいて、丁度今はずいぶん多くの数になっている。

クラゲには脳味噌がないと。(水族館の飼育人の説明では、クラゲには脳味噌がないとの説明があった。)



東北エプソンアクアリウムかもすい
(英語表記: TOHOKU EPSON AQUARIUM KAMOSUI)
ネーミングライツ・パートナー決定しました!

白聖殿堂Ⅱ白く大きく立派な建物。
戯Ⅱ遊ぶ。潺Ⅱ水の音。
林立Ⅱむらがつてたくさん立っている。
砂礁Ⅱ砂と海面から見えない岩。
渺茫Ⅱひろびろとして限りないさま。
間Ⅱ岩と岩のあいだ。
浮游Ⅱふわりふわりと浮んでいる。
海月Ⅱクラゲ。
方Ⅱちようど今。
数万Ⅱ数の多いこと。
館中Ⅱ水族館の中。
水母Ⅱクラゲ。
閑Ⅱひろい。 おおきい。 無閑Ⅱ脳の中が狭いと言う事で脳味噌がないこと。

自給率の向上は急務 全国町村長大会が特別決議

全国町村会は19日、いさつで、日本の食料都内で全国町村長大会を開き、食料・エネルギー自給率の向上、農山漁村地域の振興を国家戦略の重要事項に位置づけることを求める特別決議を採択しました。

棚野孝夫会長(北海道白糠町長)は開会あいさつで、日本の食料・エネルギー自給率の低さを問題視し、その安定確保は最優先課題だと訴えました。

通じて、国民生活に潤いを与える重要な役割も担っていると力説しました。

棚野会長は会見で、特別決議に、国産食料生産の増大と、農山漁村地域に豊富にある再生可能エネルギーの利活用を飛躍的に進めることをテーマに据えたと説明しました。



戦争する怖い日本

坊主憎けりや袈裟まで憎い・が当てはまるのか。中国からは、渡航の中止や海産物の輸入ストップも出てきた。他に何が出てくるのかは判らないが、これだけでもナン兆円という莫大な利益を失う事となる、首相の国会発言。

▲中国で何が起きろうが、しかも日本を攻撃していないのに・だよ、日本から軍隊が攻めてくると言われりや中国でなくても怒るはナ。ましてや、「お互いに脅威にならないように努める」と約束していて、首相はこの間、習主席と握手をしてきたばかりなんだからサ。

▲中国の抗議に、これが日本の初めから変わらない立場なんだと言いきり、さも理解しない中国が悪いんだ・の論調だ。これをマスコミが流し続ける事で国

東栄小獅子踊りものがたり⑥

試行錯誤の獅子頭ⅡⅢ②

元東栄小教諭・吉野文夫

獅子頭をかぶること、和太鼓を打つことは、私にとって小さい頃からの憧れであり、変身することでもあったのです。今の子にとっても、心のどこかで同様なことを感じていることと思います。

児童会主催運動会の応援合戦の一つとして、話し合いの上とり入れることになりました。

夏休みの課題の一つとして、全員自分の獅子頭を作る。その見本として、6年生が廊下に展示品を



置く。各組6年生を中心に、ダンチキのリズムに創作振り付けを行ったのです。獅子頭をかぶった入場行進と応援合戦、大変楽しく見ることができました。

創作獅子頭は個性あふれ、町創意工夫展にも出品し、金銀の賞などをいただいた作品もありました。しかし、本格的な獅子踊り用としては難点がありました。ただ、一番軽いのは和紙であることがわかりました。(つづく)

民が、そんな時は自衛隊が戦争に出ていくものだ、覚えてしまわないか心配なんだが。▲今のマスコミ、政府の言い方を伝えるだけで、何故そんなときに自衛隊が軍隊になって台湾に攻めていくのかと、文句をつけないのを不思議に思う。▲中国が日本を攻撃していないのに、何故台湾に自衛隊が出て行く? 憲法から言ってそんなことは出来ないんだと、大方の国民は思っているだろう。▲二度と戦争はしないんだと、世界に約束した憲法。「陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない」と9条2項には書いてあるのに、自衛隊が攻撃に出ていくと言うんだから納得いかない。▲世界中が注目だ。首相はしゃべり過ぎを取り消し、戦争はしないんだ・を、世界に説明するべきだ。(石川)